



斜面に立つ借景の家 -いえの廻りもいえの中-

敷地は4辺共、庭の樹木・小さな林・学校の土手と桜の緑に囲まれた、市街地の中でも恵まれた環境にある。

南側道路と敷地の一部は、東側道路より約2m下る斜面になっており、周囲の緑と斜面をどうプランに取り入れ、かつ周囲の環境にいかに関わり込ませるかが、今回の計画の鍵でした。

特に南の坂道に面する木立とその周囲の景観は、市街地にこの敷地があることを忘れさせてくれます。主要な室は、この景観を最大限利用するように配置し、玄関の土間は、内部と外部をつなげながら、借景を最大限楽しめる中庭へと導きます。

家の廻りは、バルコニー・中庭・格子と外壁に囲われたバーゴラ路地・アプローチ・裏路地・菜園庭へとつながり建物の周囲の内部と外部がさまざまな形で密接に、また、ゆるやかにつながる計画とした。